



# 気候変動適応法について

平成31年3月5日  
環境省北海道地方環境事務所

## 気候変動対策：緩和と適応は車の両輪

**緩和**：気候変動の原因となる**温室効果ガスの排出削減対策**

**適応**：既に生じている、あるいは、将来予測される  
**気候変動の影響による被害の防止・軽減対策**



# 既に起こりつつある/近い将来起こりうる気候変動の影響

## 水稲・果樹

高温による生育障害や品質低下が発生

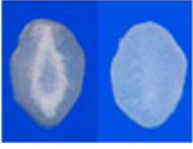


図 水稲の「白未熟粒」(左)と「正常粒」(右)の断面 (写真提供: 農林水産省)

既に全国で、白未熟粒(デンプンの蓄積が不十分なため、白く濁って見える米粒)の発生など、高温により品質が低下。



図 うんしゅうみかんの浮皮 (写真提供: 農林水産省)

果実肥大期の高温・多雨により、果皮と果肉が分離し、品質が低下。

## 生態系

サンゴの白化  
ニホンライチョウの生息域減少



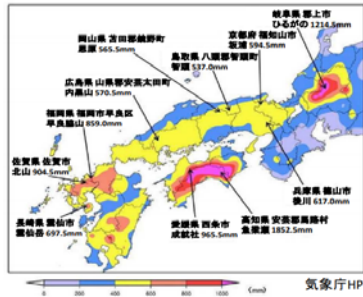
図 サンゴの白化 (写真提供: 環境省)



図 ニホンライチョウ (写真提供: 環境省)

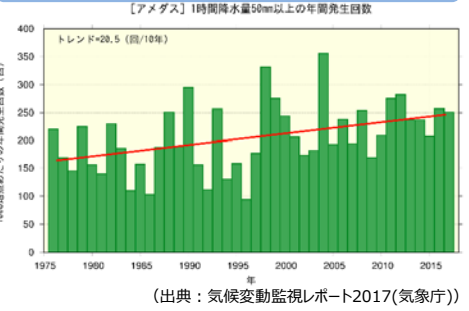
## 異常気象・災害

平成30年7月には、西日本の広い範囲で記録的な豪雨



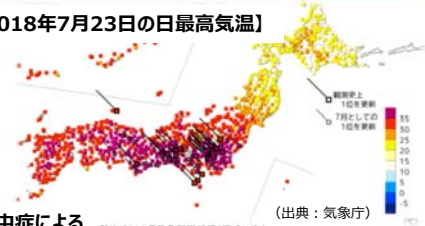
熱中症・感染症

短時間強雨の観測回数は増加傾向が明瞭



平成30年7月  
埼玉県熊谷市で観測史上最高の41.1℃を記録  
7/16-22の熱中症による救急搬送人員数は過去最多

【2018年7月23日の日最高気温】



【2018年熱中症による救急搬送状況】



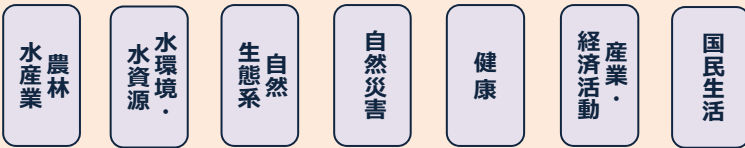
# 気候変動適応法の概要

[平成三十年法律第五十号]  
平成30年6月13日公布  
平成30年12月1日施行

## 1. 適応の総合的推進

- 国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化。
- 国は、農業や防災等の各分野の適応を推進する**気候変動適応計画**を策定（H30年11月27日閣議決定）。その進捗状況について、把握・評価手法を開発。
- 環境省が、**気候変動影響評価**をおおむね5年ごとに行い、その結果等を勘案して計画を改定。

### 各分野において、信頼できるきめ細かな情報に基づく効果的な適応策の推進



将来影響の科学的知見に基づき、  
・高温耐性の農作物品種の開発・普及  
・魚類の分布域の変化に対応した漁場の整備  
・堤防・洪水調整施設等の着実なハード整備  
・ハザードマップ作成の促進  
・熱中症予防対策の推進 等

## 2. 情報基盤の整備

- 適応の**情報基盤の中核として国立環境研究所を位置付け**。

「気候変動適応情報プラットフォーム」(国立環境研究所サイト)の主なコンテンツ

http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/index.html

## 3. 地域での適応の強化

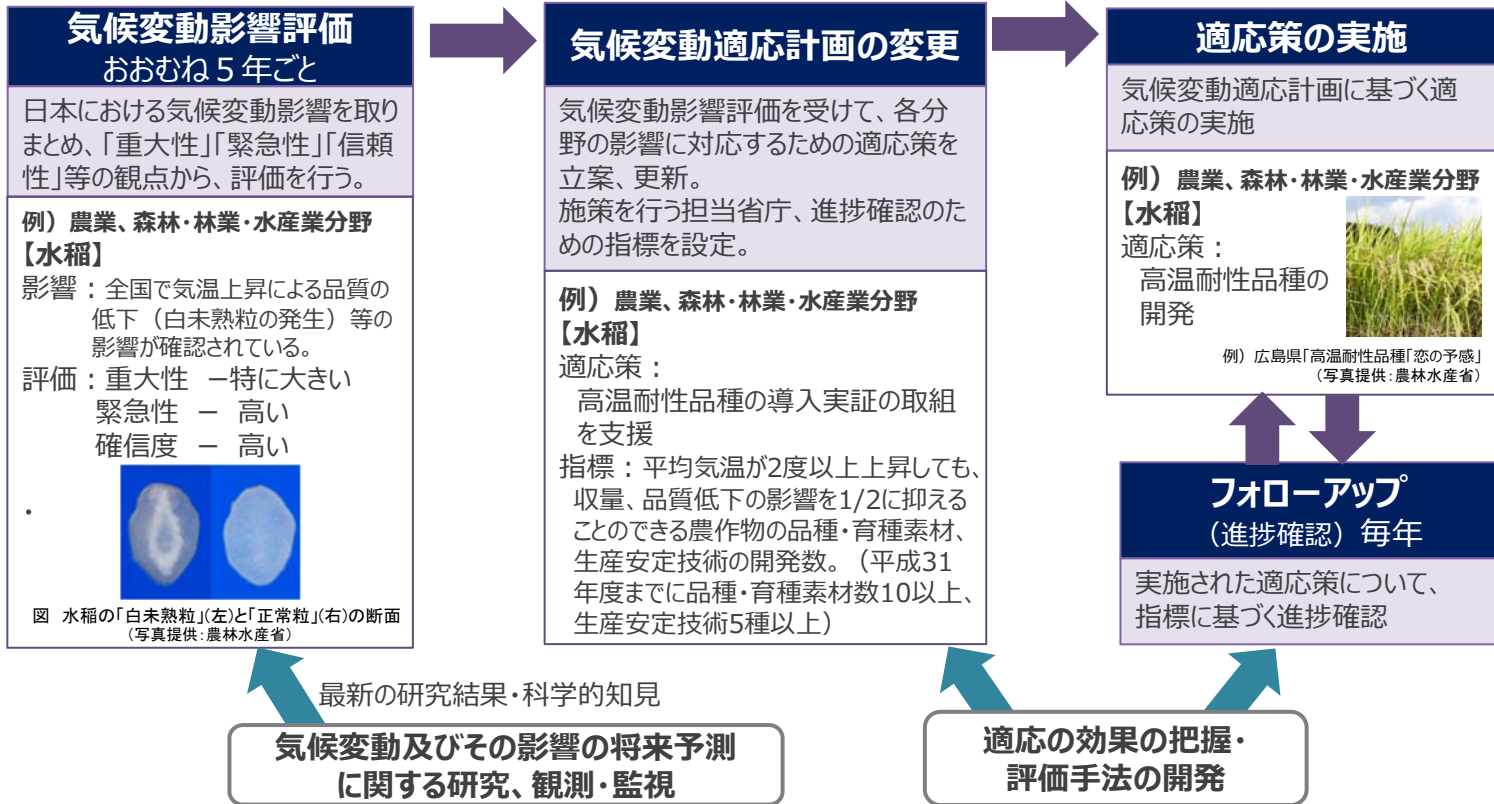
- 都道府県及び市町村に、**地域気候変動適応計画**策定の努力義務。
- 地域において、適応の情報収集・提供等を行う体制（**地域気候変動適応センター**）を確保。
- 広域協議会**を組織し、国と地方公共団体等が連携して地域における適応策を推進。

## 4. 適応の国際展開等

- 国際協力の推進。
- 事業者等の取組・適応ビジネスの促進。

# あらゆる関連施策に気候変動を組み込む

5年サイクルで最新の科学的知見をもとに気候変動影響を評価  
各分野の将来影響を加味した施策を立案し、実施します



## 環境省が旗振り役となって、我が国の適応を推進

環境大臣を議長とし、関係府省庁により構成される  
「気候変動適応推進会議」を新たに設置しました



関係府省庁間で緊密な連携体制を構築。  
政府が率先して、総合的・計画的に気候変動適応に関する施策を推進します。

### 気候変動適応推進会議

平成30年12月3日に  
第一回会合を開催

構成員

議長  
環境大臣

副議長  
環境副大臣

内閣官房

内閣府

金融庁

総務省

外務省

財務省

文部科学省

厚生労働省

農林水産省

経済産業省

国土交通省

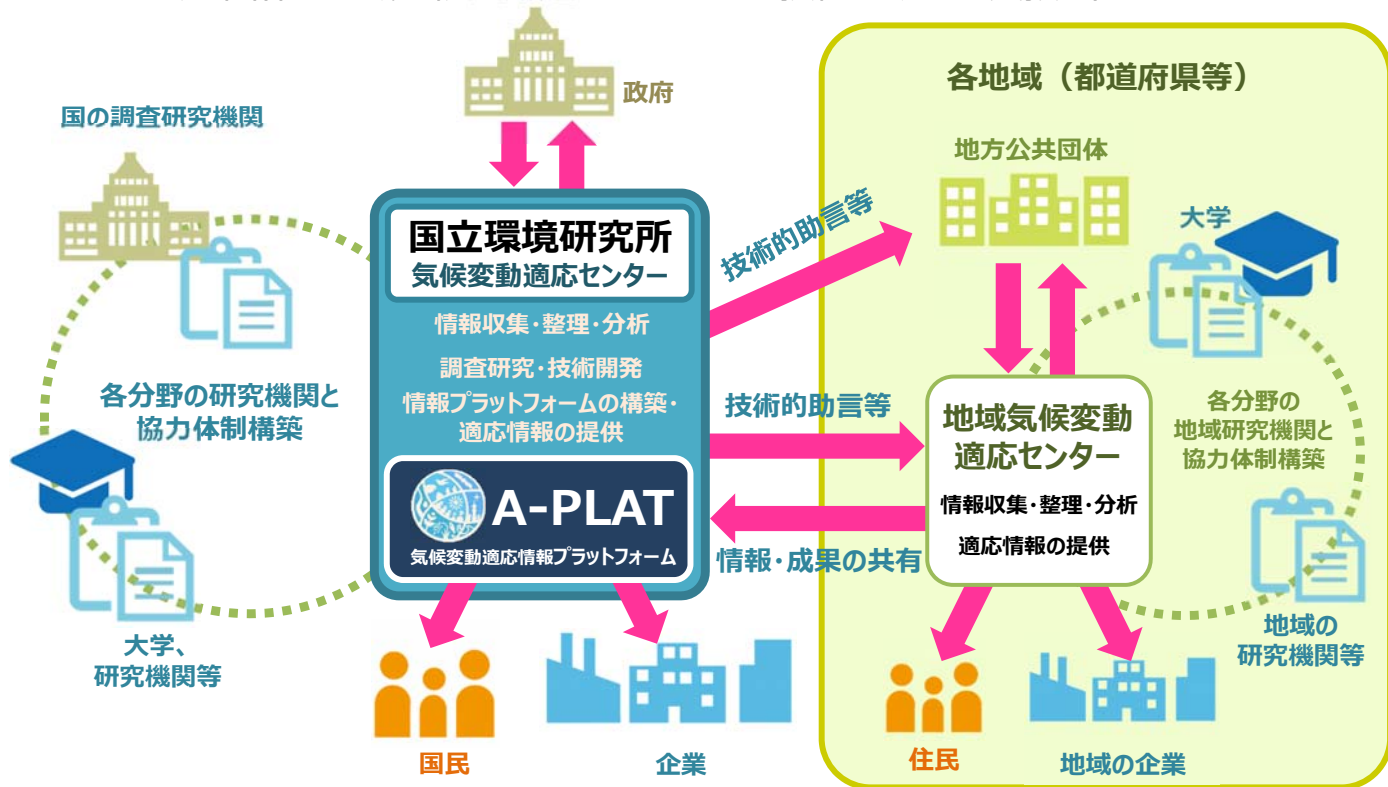
環境省

※庶務は環境省において行う。

# 国立環境研究所が情報基盤の中核に

## 平成30年12月1日に「気候変動適応センター」を設立しました

各分野の研究機関と連携し、気候変動影響及び適応に関する情報を集約し、  
 国、地方公共団体、企業、市民など各主体の取組の基盤を整備  
 地方公共団体や地域気候変動適応センターへの技術的助言や支援を行います。



## 地域に根ざした適応の本格化

### 気候変動影響は、地域の地形や社会経済状況などによって様々 地域の特徴に応じたきめ細やかな適応を推進します



#### 各都道府県・市町村でも「地域気候変動適応計画」が策定されます

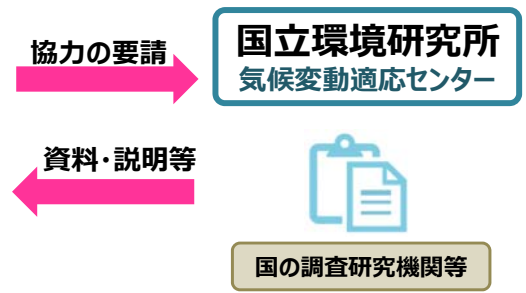
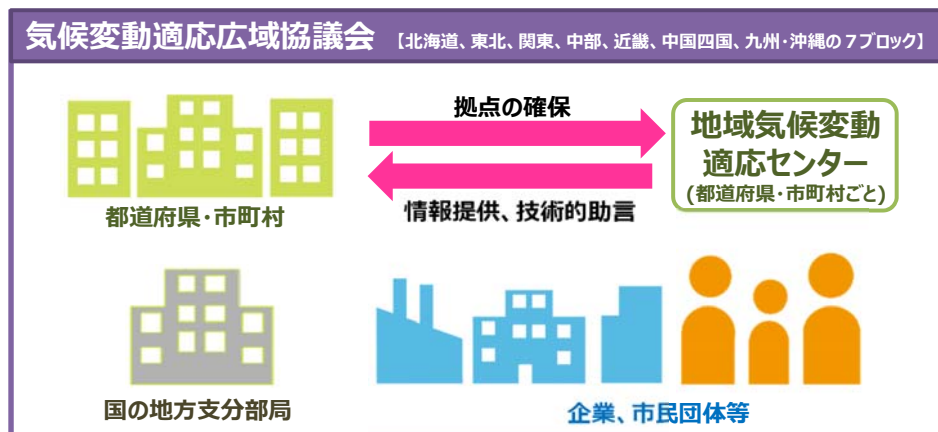
これまでに46都道府県18政令指定都市が自主的な適応計画を策定。  
 今後は、法定の地域気候変動適応計画を策定し、適応策の充実を図る。

#### 地域の情報拠点「地域気候変動適応センター」が立ち上がります

地域における気候変動影響や適応に関する情報収集、整理、分析、提供等を行う拠点を確保。  
 国立環境研究所と協力しながら、地域における情報の中核に。

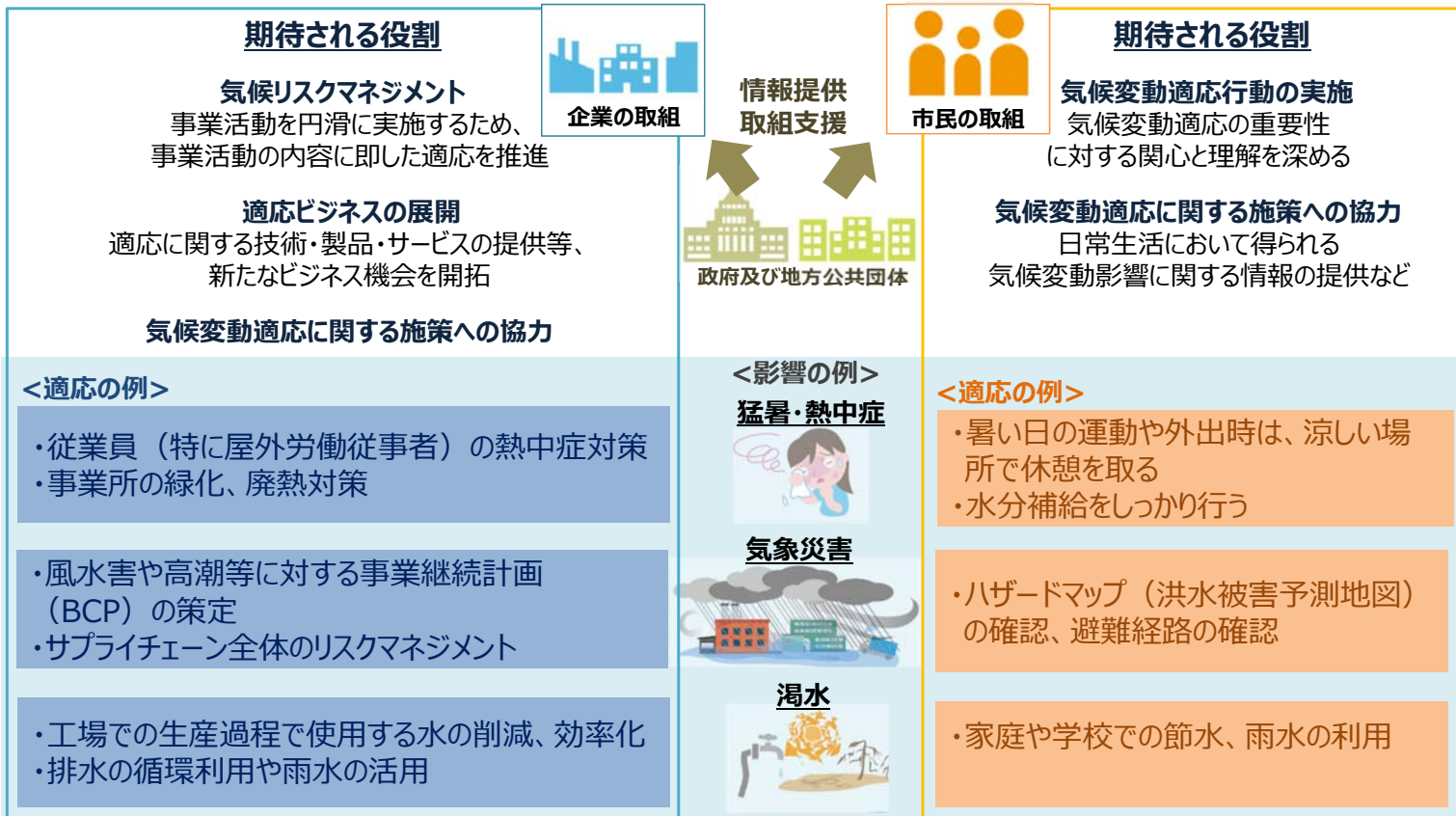
#### 地域ごとに「気候変動適応広域協議会」を立ち上げますー平成31年1月下旬～2月予定 ※庶務は各地方環境事務所が行う

ブロック内の地方公共団体、国の地方支分部局、研究機関、企業、市民が、県境を越えた広域の連携体制を構築。  
 地域内の共通の気候変動影響や、適応を進める上で共通の課題を共有し、地域における気候変動適応を効果的に推進。



# 民間企業や市民自らが適応に取り組む時代へ

情報提供等を通じて、国や地方公共団体が企業や市民の取組を支援  
平成30年度末には民間企業向け適応ガイドを公表します



# アジア太平洋地域の適応を日本の技術で支援

2020年までに国際的情報基盤としてAP-PLATを構築します





ADAPTATION FOR THE FUTURE

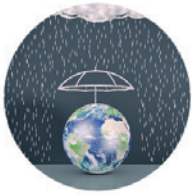
# 気候変動適応情報プラットフォーム

# A-PLAT

温暖化の影響によって現れる新しい気候、予測される自然災害などに対してあらかじめ備えることを「適応策」と言います。

## 適応しよう、未来に向かって。

変化する気候に、私たちの生活を、うまく適応させていくためにできること。  
気候変動適応情報プラットフォームは、役立つ情報を発信していきます。



### 気候変動適応とは？

知っていますか？排出を削減する「緩和」とともに気候変動の影響に社会を「適応」させていくこと。



### 政府の取組

政府の適応計画が平成 27 年に閣議決定されました。日本の適応への様々な取り組みが始まっています。



### 全国・都道府県情報

今後どのように気候が変化し、影響を受けていくのでしょうか。予測結果をご覧ください。



### 地方公共団体の適応

地域の気候変動影響予測と適応計画策定・実施に役立つ情報をお届けします。



### 事業者の適応

気候変動の影響に適応する社会づくりへの取組を紹介します。



### 個人の適応

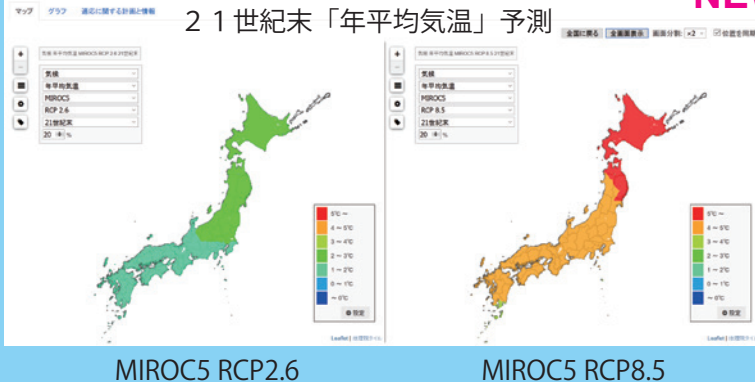
変化する気候に適応して快適な生活を送るための知恵と工夫を紹介します。

その他にも「海外情報」、「ツール（文献検索、気候変動影響統計ポータルサイト）」などをご用意しています。

## 全国・都道府県情報（WebGIS）

観測された気候変化、将来気候、気候変動影響、複数のモデルによる将来影響予測など最新のデータを参照することができます。

NEW!



## A-PLATへの掲載情報を募集しています！

### 適応ビジネス



「事業者の適応」では、適応ビジネスを展開する国内の事業者の取組を「気候変動の影響への適応計画」の主要7分野別に紹介しています。



「ツール」の「文献検索」では、気候変動の影響評価に関する文献を「気候変動の影響への適応計画」の主要7分野別に紹介しています。

気候変動や適応に関するセミナーやイベントなどの告知もトップページで行っています。

気候変動適応情報プラットフォームポータルサイト  
<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp>

Find us on

気候変動適応情報プラットフォーム

Facebookで「いいね！」



「お問い合わせ」ページからご連絡ください。

※内容によっては掲載できない場合がありますこと、あらかじめご了承ください。

# 温暖化対策には2つの取組が必要です。

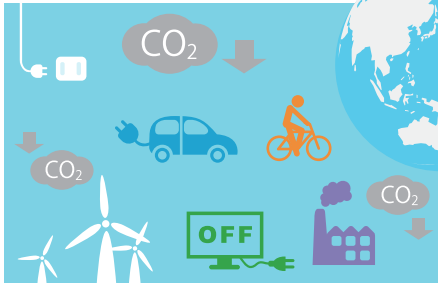
私たちは日々の暮らしの中で温室効果ガスを大量に排出しており、そのことによって地球の平均気温は上昇を続けています。こうした地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。そこで「緩和」と「適応」、2つの温暖化対策への取組が必要となります。

## ■緩和

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が緩和です。

## 緩和とは？

CO<sub>2</sub>を減らす



## 適応とは？

変化する気候に備える



## ■適応

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応です。

## 温暖化による影響と適応策

日本において適応に取り組むべく、平成27年に「気候変動の影響への適応計画」が策定されました。そこでは、影響が既に生じているまたはその恐れがある主要な7つの分野（「農業・森林・林業・水産業」「水環境・水資源」「自然生態系」「自然災害・沿岸域」「健康」「産業・経済活動」「国民生活・都市生活」）が明示されています。



農業・森林・林業、水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活

## 今日からはじめよう！個人でできる適応の取組

これらは「適応」の一例です。

### 1 水を大切に使う！

温暖化によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもなります。



### 3 自然災害にそなえよう！

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。



### 2 熱中症を予防しよう！

地球温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。

#### 熱中症の主な症状

1. めまいやぼてり
2. 筋肉痛・筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい
5. 体温が高い、皮膚の異常



### 4 虫刺されに気をつけよう！

気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった虫が、北上する可能性があります。例えば、デング熱という病気を広める蚊の住める地域が北に広がっていますので注意しましょう。

#### デング熱について

ヒトスジシマカという蚊が運ぶウィルスが原因となる病気です。2014年、代々木公園などで感染したと考えられる患者が発生しニュースになりました。温暖化が進むことによって、将来的に流行することが心配されています。



2017.06

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

re100  
自然バリュー配合率100%再生紙を使用